

平成30年度 大好評! 「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀賞に選ばれた11作品を紹介いたします。 ※学年は平成30年度のもので、

すきすき
たいむが
だいすきて買

わたしのすきなこと

わたしはすきすきたいむがだいすきてです。だって、おかあさんがぎゅうっとしてくれるとあったかいしなんかやさしくなれるからです。まいにちしてほしいです。

岡山市御津金川認定こども園 甲元 優羽さん

おとうさんの
ぎょうざが
たべたいて買

おとうさんのぎょうざ

おかあさんがいないとき、おとうさんがれいとうぎょうざをやいてくれました。かわがほにゃほにゃになりました。わらえるぐらいやわらかかったです。またおとうさんのぎょうざをわらいながらたべたいです。

新見市立高尾小学校 1年 高西 晴仁さん

みんなを
まもりたいて買

ぼくがまもるよ

おとうさんが、やきんのときに、大雨とくべつけいぼうがてた。お母さんとおばあちゃんは、にもつをまとめてにげる用いをした。「ぼくは、男だから二人をまもるよ。」と言ったら、こわがっていた二人が大わらした。ぼくに、まかせてね。 高梁市立松原小学校 2年 若山 翔輝さん

キセキで
つながって
いるて買

一つのキセキ

ぼくがお母さんのおなかの中にいる時に、お母さんは「世界に一つだけの花」を歌ってくれていたそうです。ぼくはその事を知らなかったけど、ぼくがピアノをならいだして、初めての発表会でひいた曲が「世界に一つだけの花」でした。毎日練習して、みんなの前でじょうずに出来て、お母さんもよろこんでくれました。発表会がおわった後、お母さんからおなかの中で聞いた歌なんだよと教えられて、おぼえていないけどキセキみたいと思いました。なんだか今もつながっているみたいで、うれしくなりました。

倉敷市立万寿小学校 4年 犬岡 智稀さん

ルールを守って
楽しみたいて買

わが家の合言葉

私の家では、手伝いを楽めるようなルールがあります。それは、何か頼まれたら、「はい、喜んで」と答えるという事です。手伝いがいやでも、この言葉があると自然と笑顔で手伝いをする事ができます。

また、注意をされたら「はい、ありがとうございます」と答えるというルールもあります。注意される事をありがたく思うのは大切だと思います。この二つの合言葉は、私の中で、楽しいルールとなっています。これからも、この習慣を守っていきます。 倉敷市立第二福田小学校 6年 川村 莉穂さん

母の手は
安心するて買

母の手

この間の西日本豪雨災害で思い出したことを書こうと思います。私は幼い頃、怖い夢を見たりしたときに必ず母に頭をなでてもらい安心していました。西日本豪雨災害のとき、岡山県は災害が少ないと思っていたので、やまないうちが少し怖くなっていました。そして部屋にこもっていると、母がやってきて無言で頭をなでてくれました。それに安心した私はふと「もう少し子どものままでいたい」と思いました。それと同時にこれから進学先の県外で一人でやっていくのかとても不安になりましたが、いつまでも子どものままでいるのむづかしいので、勇気を出して次の春から一人暮らしをがんばろうと思いました。不安になったときあなたかいい母の手を思い出してがんばります。 県立井原高等学校 3年 森岡 砂羽さん

いつまでも
子育てを
して欲しいて買

最後の子育て

母が年をとりました。いつも同じ話を聞かれます。思うように片付けができなくなったと愚痴を言います。アドバイスをすると「そんな簡単にはいかん」と聞き入れてはくれません。ひどい時はそれで喧嘩にもなります。ご飯を作るのも面倒くさくなります。体がしんどいと言って半日寝ていることもあります。「あー年をとると・・・。」と、つい思います。でも、これって私も行く道。数十年後の自分を思い浮かべて、クスリと笑います。「あなたも遠からず、こうなるよ。」と、母が私に最後の子育てをしてしてくれているのだと思うのです。 津山市 森安 千寿さん

あたたかい
気持ちに
なりたいて買

お母さん

お母さんの仕事は2月から3月が一番そがしいです。この期間は土曜日仕事で夜の11時に帰って来ます。学校が終わってからは、るす番です。お母さんと会える時間は朝起きて学校に行くまでの数時間です。でも、お母さんがお仕事をがんばっているの、わたしも弱い気持ちではだめだと思いがんばりました。仕事が落ち着いていつもの生活にもどった時、お母さんは「さみしい思いをさせてごめんね。」とぎゅっとだきしめてくれました。心がじんわりあたたかい気持ちになりました。 倉敷市立玉島小学校 3年 佐々木 菜子さん

これからも
元気でいて
ほしいて買

おばあちゃんがきた日

今年の7月10日からおばあちゃんと一緒に住むことになりました。おばあちゃんの家は真備で二階まで水につかって住めなくなりました。一年に2回くらいしか行ってなかったけどおばあちゃんの家がなくなってしまって本当に悲しいです。でも今はおばあちゃんと一緒に住んでうれしい気持ちもあります。お母さんが仕事でなくてもおばあちゃんがいってくれるし色々教えてくれます。自衛隊の人には感謝しています。おばあちゃんを救助してくれてありがとうございます。これからも元気でいてほしいです。

浅口市立鶴方東小学校 5年 別府 冬真さん

のびのびと
育って
欲しいて買

祖母の愛情

私にはとても優しい祖母がいます。祖母はいつも庭の奥に咲いた『ハナミズキ』を大切にしています。「なんで?」と聞くと、「これは、あなたが生まれきたのと同じ所に植えたの。」といました。ハナミズキは大ききのびのびと育っています。きっと私が大ききのびのびと育って欲しいという願いをこめて植えられたんだろうなと思いました。 鶴社市立鶴社西中学校 1年 岡本 美空さん

子育てを
楽しみたいて買

私の意識改革

最近、気付いたこと。それは、『我が子の顔を見る時間』より、『スマホの画面を見ている時間』の方が、増えてしまっていることです。そのことに気付いて以降、子どもという時は、子どもとの会話に集中すること、顔を見て接することを意識するようにしています。時代の波には抗えないけれど、意識することで時間の使い方は変えられると思います。今しか見られない子どもたちの表情を見逃さないように、子育てを楽しみたいです。 美咲町立美咲中央小学校 保護者 岸田 暢子さん